

さんとめしんでん へいちりん 2. 三富新田の平地林

Point

さんとめしんでん みよしまち かみとめちく とこなざわし なかとみ しもとみ ちゅうしん かいたく ちいき
三富新田は三芳町の 上富地区、所沢市の 中富・下富 地区を 中心に 開拓された 地域で
す。

やしきち こうち へいちりん ぞうきばやし いったい お ぼ たいひ のうほう きび
屋敷地～耕地～平地林（雑木林）が一体となった「（ 落ち葉堆肥 ）農法」は、厳しい
しぜんじょうけん こくふく ちえ
自然条件を克服するための知恵がつまっています。



どうが うつ じょうくう み さんとめしんでん とくちょう
動画に映っていた上 空から見た三富新田はどんな特徴が
あったかな？ 気づいたことを書いてみよう。

- （例） れい はたけ ほそなが たんざくじょう はたけ めん ぞうきばやし はいち
畑が細長い短冊状になっている、畑に面して雑木林が配置されている など

Point

えどじだい ねん かわごえはんしゅ やなぎさわよしやす さんとめ ち しんでん かいほつ
江戸時代（1694年）川越藩主となった柳沢吉保は、三富の地に新田を開発しました。
その頃、さんとめしゅうへん むさしのだいち とち えいよう すく かわ ちか なが
三富周辺の武蔵野台地は土地の栄養が少なく、川が近くに流れていなかった
ため、
のうさくもつ つく くるう
農作物を作るのにととも苦勞していました。

にんげん のうぎょう おこな せいかつ なに
人間が農業を行ったり、生活するために何をしたのでしょうか？



（例） れい コナラやクヌギなどの木を植え平地林（森林）を作った、

A. たんざくじょう じわり おこな
短冊状の地割を行った など

Point

えどじだい ねんいじょうつづ さんとめしんでん でんとうてきのうほう ちいき
江戸時代から300年以上続いてきた三富新田の伝統的農法によって、この地域は
だいとしきんこう のうち げんざい のうぎょう さか おこな おも さくもつ
大都市近郊の農地として現在も農業が盛んに行われています。主な作物は（サツマイ
モ、ニンジン）です。



へいちりん ぞうきばやし う き おち ば ひとびと
平地林（雑木林）に植えた木や落ち葉を人々はどのように
かつよう
活用しているのかな？

（例） れい お ぼ あつ たいひ はたけ のうさくもつ ようぶん
落ち葉を集めて堆肥にし、それを畑にまくことで農作物の養分にした、

A. ぼうふうりん はたけ かんそう ふせ まき ねんりょう
防風林として畑の乾燥を防いだ、薪などの燃料にした など

へいちりん ひと て はい い もん えいきょう
平地林に人の手が入ることで生き物にどんな影響があるか、
かんが
考えてみよう。



(例) ^{れい}間伐^{かんぼつ}や^{えだう}枝打ちにより、^{にっこう}日光が^{りんない}林内に入り、^{はい}草や^{くさ}低木^{ていぼく}が^{せいいく}生育できるようになる。

A. ^{くさ}草や^{ていぼく}低木を^た食べたり^す住みかにする^{いき}生き物^{もの}が^{くら}暮せるようになる。 など
